【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【公開番号】特開2010-85093(P2010-85093A)
【公開日】平成22年4月15日(2010.4.15)
【年通号数】公開・登録公報2010-015
【出願番号】特願2010-5405(P2010-5405)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｃ　3/12　(2006.01)
Ｆ２３Ｎ　5/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｃ　3/12　Ｌ
Ｆ２４Ｃ　3/12　Ｇ
Ｆ２３Ｎ　5/26　１０１Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成22年7月9日(2010.7.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５４】
一方、第２過熱温度信号が受信された場合、消火制御部７６ａは、火災が発生し得る又は火災が発生している状態であり、消火を行う必要があると判断して、パラシュート型消火装置６０に起動信号を出力することにより、このパラシュート型消火装置６０を起動する（ステップＳＣ－１０）。この起動信号を受けたパラシュート型消火装置６０は、図１１に示すように、扉６２を開くことにより、防火布６１を落下させる。そして、図１２に示すように、落下した防火布６１によってガスコンロ１の上部が略覆われることにより、窒息効果によって、火災の発生が予防され、あるいは、既に火災が発生している場合にはこの火災が消火される。これにて温度監視制御盤７０における処理が終了する。この後、安全が人為的に確認された時点で、防火布６１はパラシュート型消火装置６０に再び収納され、ガスマイコンメータ１０がガス作業員によって復旧されることによってガス供給が再開される。従って、火災の発生が未然に防止され、あるいは、火災が発生している場合においてもこの火災が自動的に消火されるので、一層の安全性を確保できる。